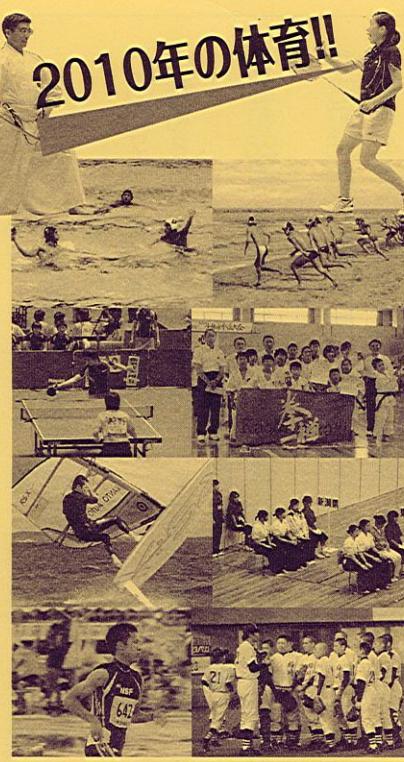




柏崎体育 第152号

柏崎市体育協会 広報誌
平成23年1月21日発行

編集 柏崎市体育協会広報部
印刷 柏崎インサツ



柏崎勢全国大会大活躍!



ブルボンウォーターポロクラブの誕生



坂田四郎吉氏・胸像完成

「柏崎のスポーツを支え、発展させる力」

～各スポーツ大会等観戦して～

柏崎市体育協会

副会長 坂井和之



皆様明けましておめでとうございます。昨年は、各種スポーツ大会や市民のスポーツ活動を沢山見せてもらいました。今年は、何か感じさせられる学びの多さがありました。独善的になりますが、私なりの感想等を簡単に述べてみたいと思います。

みなが歩けば、心身の健康に最良である。それを求める市民の多さを実感できた。

開会式のピリッとした雰囲気と競技中の集中力には、私自身も緊張した。武道に伝わる規律・礼儀作法には伝統の重みを感じざるを得なかつた。

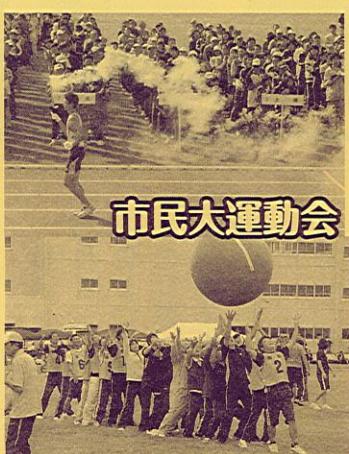
○去年も沢山の選手が、IHや全中、国体に出場し、スポーツ都市柏崎の力を示してくれました。また、水球に「ウォーター・ポロクラブ 柏崎（ブルボンK C）」が結成され、早々に日本選手権3位の結果を出してくれた。柏崎のスポーツ界に新しい力と心強さを感じた。

5年ぶりに開催されたが、老若男女を問わず、その熱気とパワーに圧倒された。地震からの復興を成し遂げつつある市民の力強さを見えた。

一般男女・高校男子の決勝戦をじっくり見てもらつた。一進一退の中で、技と体を駆使しての好勝負であった。一瞬の気の緩みが相手に得点を与える。心（集中力）・技・体の一体化とチームワークの重要さを知らされた思いである。

5年を最高齢に70歳代がぐらりと並ぶ。背筋が伸び、かけ声も若々しい。市民スポーツを支える底辺があるにある。

多くの参加者が笑顔で歩き出しました。途中の景色や会話を楽しんでいます。



(※1) IH インターハイ
(全国高等学校総合体育大会)
(※2) 全中 全国中学校体育大会

わたしたち、こんな活動しています♪ 第2回

△加盟団体紹介

・水上競技連盟

・陸上競技連盟
・少林寺拳法協会
・卓球連盟
・坂田体育研究所

こんにちは!
水上競技連盟です。

水上競技連盟
事務局 中野正志

理事長 花井憲雄

柏崎陸上競技協会
理事長 花井憲雄

全国に通用する
選手の育成を

陸上競技協会では、全国に通用する選手の育成を目指し、ジユニア陸上教室をはじめ、小・中・高合同強化練習・選抜強化合宿等、競技の普及と併せて、様々な選手育成・強化事業に取り組んでいます。

また、練習成果の発表の場として、毎年4月に県下シースン幕開けとなる柏崎選手権を皮切りに、今井哲夫記念柏崎ジユニアオリエンピック、秋季陸上競技記録会、室内陸上競技記録会も開催しています。

こうした底上げ努力により、毎年全中、インターハイ、国体等で活躍する選手が多数あります。これに加え、近年はジユニア層の競技力の向上が大きく、全国小学生陸上競技交流大会に続して出場しています。

今後も、こうした活動を継続し、全国に通用する選手を多数輩出できるようがんばってまいります。

週に3回、武道館やワープラザを利用して活動しています。武道といふ事もあり、多くの人達にはあまり目に触れないものかも知れませんが、年配の方々まで多くの人達が日頃の練習に汗を流しているのも事実だと思っています。

性別を問わず小学生から大学生からまで多くの人達が日頃の練習に汗を流しています。

われた坂田四郎吉翁の体育の理念探求と、指導活動に本拠地を与えて頂いています。武道といふ事もあり、多くの人達にはあまり目に触れないものかも知れませんが、年配の方々まで多くの人達が日頃の練習に汗を流しているのも事実だと思っています。

館内では朝体操を朝6時、冬は6時半からワープラザと町内会での体操会に出張指導を行なっています。

また、毎年4月に県下シースン幕開けとなる柏崎選手権を皮切りに、今井哲夫記念柏崎ジユニアオリエンピック、秋季陸上競技記録会、室内陸上競技記録会も開催しています。

こうした底上げ努力により、毎年全中、インターハイ、国体等で活躍する選手が多数あります。これに加え、近年はジユニア層の競技力の向上が大きく、全国小学生陸上競技交流大会に続して出場しています。

今後も、こうした活動を継続し、全国に通用する選手を多数輩出できるようがんばってまいります。

週に3回、武道館やワープラザを利用して活動しています。武道といふ事もあり、多くの人達にはあまり目に触れないものかも知れませんが、年配の方々まで多くの人達が日頑の練習に汗を流しているのも事実だと思っています。

われた坂田四郎吉翁の体育の理念探求と、指導活動に本拠地を与えて頂いています。武道といふ事もあり、多くの人達にはあまり目に触れないものかも知れませんが、年配の方々まで多くの人達が日頑の練習に汗を流しているのも事実だと思っています。

館内では朝体操を朝6時、冬は6時半からワープラザと町内会での体操会に出張指導を行なっています。

また、毎年4月に県下シースン幕開けとなる柏崎選手権を皮切りに、今井哲夫記念柏崎ジユニアオリエンピック、秋季陸上競技記録会、室内陸上競技記録会も開催しています。

こうした底上げ努力により、毎年全中、インターハイ、国体等で活躍する選手が多数あります。これに加え、近年はジユニア層の競技力の向上が大きく、全国小学生陸上競技交流大会に続して出場しています。

今後も、こうした活動を継続し、全国に通用する選手を多数輩出できるようがんばってまいります。

週に3回、武道館やワープラザを利用して活動しています。武道といふ事もあり

「夢と情熱・至誠の体育人 坂田四郎吉氏 グラウンドの胸像に偲ぶ」

柏崎市体育協会会長

近藤康信



一人の市民にして体育の先駆者、大運動場の創設や庶民体育の奉仕者としての体育人「坂田四郎吉氏」。氏の描いた夢、定めた目標に信念と情熱、至誠を貫かれた人間「坂田氏」。今、我々は氏の柏崎体育の父としての理念と業績をひもとき、その源流に学び、励みとし、規範として、わがスポーツ都市柏崎の実現の糧としたい。

以下、氏の志と業績を年表風にまとめてみる。

- 明治20年 刈羽郡秋津村（現中鯖石地区与板）に誕生
- 大正5年 鯖石小学校・柏崎小学校体操専科訓導として奉職『柏崎を体育の都に』を夢に、着任校の体育実績の向上・大運動場の建設・民衆体育の振興を唱える
- 大正10年 「大運動場を建設せよ」を柏崎日報に投稿 柏崎体育発展の第一声であり、端緒となる
- 大正11年 「大運動場期成同盟会（同年刈羽郡体育協会に改称）」発足、その企画・運営にあたる
- 大正12年 大運動場竣工・県少年少女オリンピック開催・朝起体操会発足 健康体育の指導と共に「体育民謡」等庶民体育の普及に努め、そのモットーを「普く・正しく・断えず」とし、これを生涯の理想として実行した
- 昭和5年 「柏崎体育連盟」結成 総合競技団体のスタートとなる 大運動場が公認グラウンドとなつたのもこの年 スケ笠姿でグラウンドキーパーとして奉仕する姿は体育一筋に生きる人間坂田氏の真骨頂の表現だった またこの年、第一回マスゲーム大会が開催された これは全国初の大体操祭で以後昭和18年まで続き、戦後は「柏崎体育祭」として28年に復活した
- 昭和7年 元朝体操会創始 社会体育功労者として文部大臣から表彰 ラジオ体操・デンマーク体操など町民総体操の普及に町内を巡回指導
- 昭和26年 北陸体育研究会・28年全国都市体育研究会で提案と体操マスゲームを発表し好評 健康体操の普及、指導にあたる
- 昭和40年 「勲五等瑞宝章」受賞

坂田体育の真髄は健康の追求を大目標とした市民体育であり、市民の生活に根ざした今までいう「人類文化」を理念としたものであった。その偉大さに敬意を表すと共に「眞体育」へのひたむきな愛とその実現にむけての突進力は、我々体育人の指針として、教訓として、永久に生きて働く力となり続けると信じる。

追 坂田氏の胸像は、陸上競技場グラウンド西側にあります。去る10月3日の市制70周年記念大運動会の折りに除幕式を行いました。近所においての際はお立ち寄りいただき、氏の志を偲んでいただければ幸いです。

（広報部）

私はH22年11月15日～11月28日まで中国広州で行われましたアジア大会へ出場してきました。結果は三位という満足がいく成績とはなりませんでしたが、父としての理念と業績をひもとき、その源流に学び、励みとし、規範として、わがスポーツ都市柏崎の実現の糧としたい。

以下、氏の志と業績を年表風にまとめてみる。

○明治20年 刈羽郡秋津村（現中鯖石地区与板）に誕生

○大正5年 鯖石小学校・柏崎小学校体操専科訓導として奉職『柏崎を体育の都に』を夢に、着任校の体育実績の向上・大運動場の建設・民衆体育の振興を唱える

○大正10年 「大運動場を建設せよ」を柏崎日報に投稿 柏崎体育発展の第一声であり、端緒となる

○大正11年 「大運動場期成同盟会（同年刈羽郡体育協会に改称）」発足、その企画・運営にあたる

○大正12年 大運動場竣工・県少年少女オリンピック開催・朝起体操会発足 健康体育の指導と共に「体育民謡」等庶民体育の普及に努め、そのモットーを「普く・正しく・断えず」とし、これを生涯の理想として実行した

○昭和5年 「柏崎体育連盟」結成 総合競技団体のスタートとなる 大運動場が公認グラウンドとなつたのもこの年 スケ笠姿でグラウンドキーパーとして奉仕する姿は体育一筋に生きる人間坂田氏の真骨頂の表現だった またこの年、第一回マスゲーム大会が開催された これは全国初の大体操祭で以後昭和18年まで続き、戦後は「柏崎体育祭」として28年に復活した

○昭和7年 元朝体操会創始 社会体育功労者として文部大臣から表彰 ラジオ体操・デンマーク体操など町民総体操の普及に町内を巡回指導

○昭和26年 北陸体育研究会・28年全国都市体育研究会で提案と体操マスゲームを発表し好評 健康体操の普及、指導にあたる

○昭和40年 「勲五等瑞宝章」受賞

本水球の強化と普及を考えたときに、「社会人の受け皿をつくる」という大きな課題を、何とかできないかと、今の「ブルボンKZ」の構想が始まりました。この日本一を目指す社会人チームには、2012年、した「ブルボンKZ」が大きく影響しています。日本水球の強化と普及を考えたときに、「社会人の受け皿をつくる」という大きな課題を、何とかできないかと、今の「ブルボンKZ」の構想が始まりました。この日本一を目指す社会人チームには、2012年、

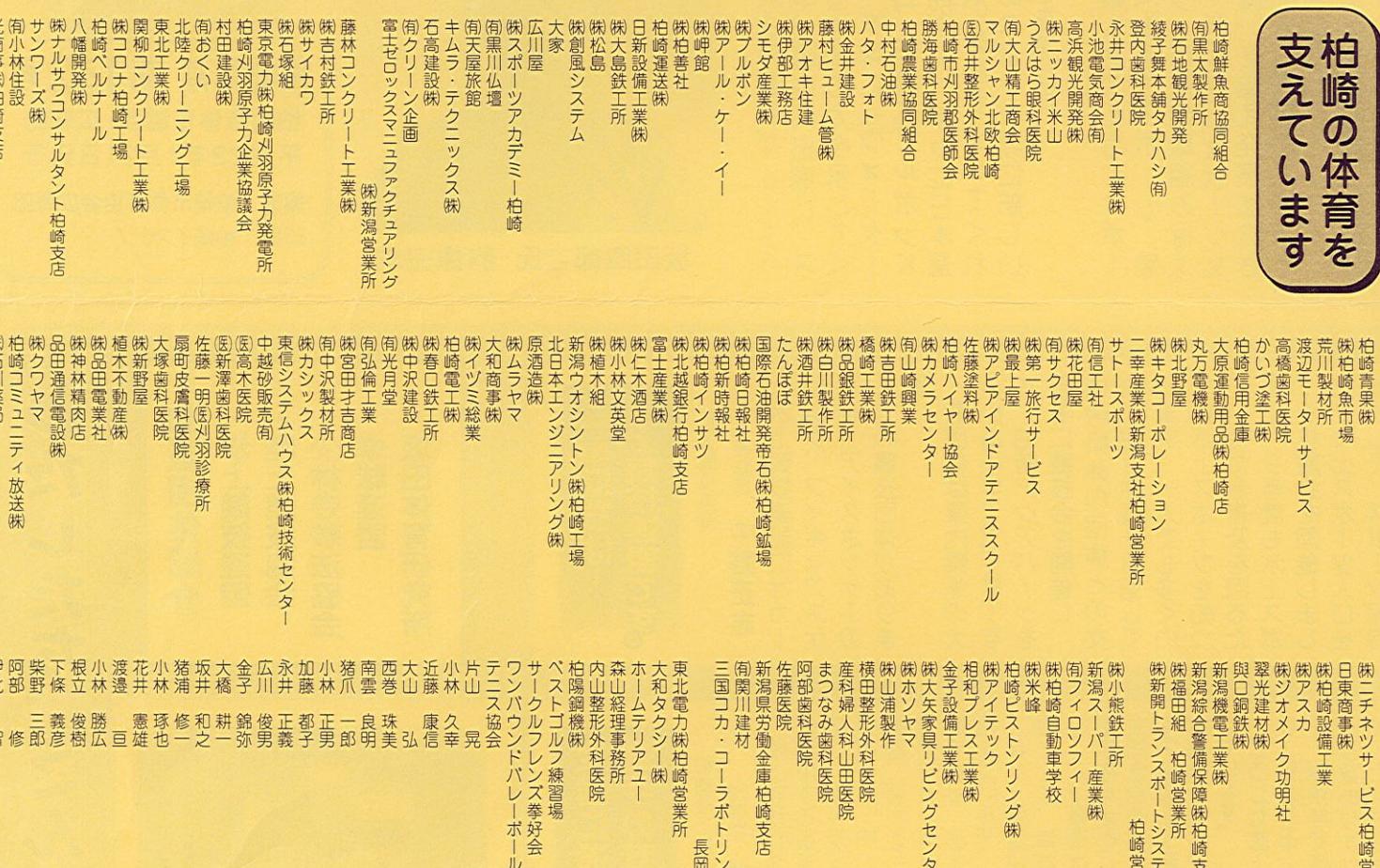
かと、今の「ブルボンKZ」が大きく影響しています。日本水球の強化と普及を考えたときに、「社会人の受け皿をつくる」という大きな課題を、何とかできないかと、今の「ブルボンKZ」の構想が始まりました。この日本一を目指す社会人チームには、2012年、

かと、今の「ブルボンKZ」が大きく影響しています。日本水球の強化と普及を考えたときに、「社会人の受け皿をつくる」という大きな課題を、何とかできないかと、今の「ブルボンKZ」の構想が始まりました。この日本一を目指す社会人チームには、2012年、

ブルボンウォーターボロクラブの誕生と課題

ブルボンKZ監督 青柳勧

2016年のオリンピックを目指せる代表選手を極力集め、実質上日本代表の練習が365日、柏崎で行えるようにするというねらいがあります。現在「ブルボンKZ」には、日本代表チームの中心選手が5名所属しており、「ブルボンKZ」の練習、戦略などをそのまま日本代表チームへと共有され、還元されるようになりました。今後も多くの水球日本代表選手が柏崎へ集まり「ブルボンKZ」と共に日本水球の応援のほど何卒よろしくお願いいたします。



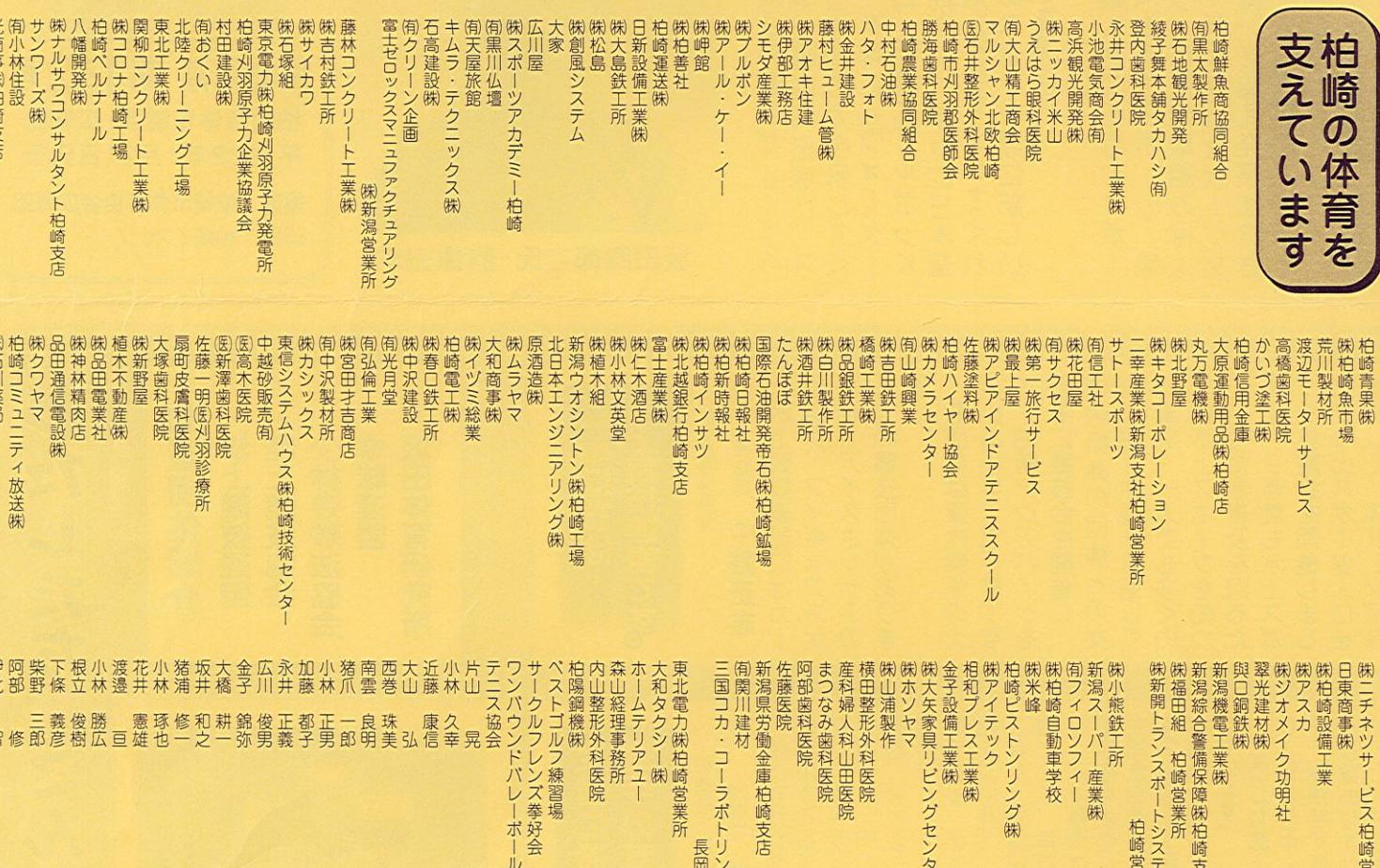
〒945-0065 柏崎市学校町6-73
新潟県立柏崎ア夸パーク内
TEL 0257(22)5597 / FAX 0257(22)0766
e-mail kashiwazaki-sports@kanreku.jp
ホームページ http://blogs.yahoo.co.jp/kashiwazaki_sports

柏崎市体育協会 広報部

| | | | |
|-----|------|-------|---|
| 長 部 | 副 部 | 理 事 長 | 員 |
| 副 部 | 担当 部 | 長 部 | 員 |
| 部 | 部 | 員 | |

横 関 健一
森 山 英 子
片 山 满 里
品 田 行 美
廣 川 美 和
佐 竹 角 山

渡 辺 匡
松 井 洋 介
梅 賀 児 島
朝 賀 児 島
裕 樹 北 村
友 子 出 美
川 濱 中 村
瀬 友 子
北 村 日
北 村 裕 樹



〒945-0065 柏崎市学校町6-73
新潟県立柏崎ア夸パーク内
TEL 0257(22)5597 / FAX 0257(22)0766
e-mail kashiwazaki-sports@kanreku.jp
ホームページ http://blogs.yahoo.co.jp/kashiwazaki_sports

柏崎市体育協会 広報部

| | | | |
|-----|------|-------|---|
| 長 部 | 副 部 | 理 事 長 | 員 |
| 副 部 | 担当 部 | 長 部 | 員 |
| 部 | 部 | 員 | |

横 関 健一
森 山 英 子
片 山 满 里
品 田 行 美
廣 川 美 和
佐 竹 角 山

渡 辺 匡
松 井 洋 介
梅 賀 児 島
朝 賀 児 島
裕 樹 北 村
友 子 出 美
川 濱 中 村
瀬 友 子
北 村 日
北 村 裕 樹

全国大会で

2010年も柏崎勢大活躍！

少林寺拳法で今年も元気です

少林寺拳法協会会長 牧野 輝男

少林寺拳法の競技人口はまだまだ他の競技に比べると非常に少ないと思いますが現在柏崎市内では約60名ほどの人達が練習に汗を流しています。

ここ数年柏崎の拳士達も全国の壁に挑戦し続けておりますが、入賞までにはあと歩と苦戦をしてきました。しかしながら着実にその実力は向上しているものと確信しています。少林寺拳法は武道であり競技力のみが本来の最終到達点ではありませんが、大会は己之力の度合いを測る目安として大切なものと考えています。これからも目標に向けての挑戦は続きます。



精進と向上

柏崎フイフセービングクラブ

事務局 須田 好美

ライフセービング競技は、実際のレスキューを想定したレースのため「競技No.1」はレスキューNo.1」という言葉がある。それを目標とし、海はもちろんフルでの全国大会に出場している。関東圏チームよりも少數だが、今年も個人種目やチームリースでも上位入賞やメダル獲得するという素晴らしい成績を出した。そんな姿に追いつけばばかりにジュニア達も大会に出場し、初めてのレースにも関わらずメダルを獲得した選手もいた。

今後は次世代選手の育成にも力を入れ柏崎を盛り上げていきたい。

沖縄インターハイ3位 古川選手(産大附)

柏崎陸上競技協会

理事長 花井 憲雄

当陸上競技協会の重点施策として、ジュニア選手の育成・強化を掲げ、小学生ジュニア陸上教室（小3～6年）や小・中・高校冬季練習会（1・2月）、同選抜強化合宿（3月）等を実施している。

昨年の沖縄インターハイで古川諒選手（産大附属高）が男子400mで殊勲の第3位（48秒31）、柏崎では久しぶりの上位入賞を果たす。

昨年度まで専門は走高跳で全中第5位の実績があるが、監督にスピードと加速力を見込まれて今年度から400mに転向、大会毎に記録を伸ばしての快挙である。その後の国体でもう1位に入賞し、今後が大いに期待される。



水泳・競泳・水球の活躍

水泳連盟 事務局 小山 拓己

トキめき新潟国体で、大いに盛り上がった昨年度でしたが、水泳競技は今年度も各全国大会で柏崎出身選手が活躍しました。まず8月に沖縄県で行われたインターハイの競泳競技には、和田康宏・村山訓亮・角川夏子・小池愛佳・今井万里子の5選手が出席しました。また、広島県で行われた全国中学校選手権には和田崇都選手が、出場し9位と健闘しました。

水球競技では、広島県で開催された全国JOC夏季水球競技大会で、柏崎アクリアクラブ 中学生男子チームが、3位入賞を果たしました。このチームの選手達は、彼らが小学生のときに全国準優勝に輝いたメンバーであり、今回もこれに続く快挙となりました。また同大会で中学生女子・高校生女子チームも、ベスト8と健闘しました。



9月に千葉県で行われた「ゆめ半島ちは国体」で、水球の高校生男子チームが、インターハイ優勝チームである福岡県を延長Vゴールで破り、決勝リーグに進出し7位入賞を成し遂げました。

そして、ブルボン・ウォーターポロクラブ柏崎が今年度水球日本選手権に初出場し、3位入賞となりました。

関係者の皆さん、応援・ご支援に感謝申し上げます。



品田峯雄選手 優勝

柏崎剣道連盟 居合道部会

理事長 品田賢一郎

五段・六段・七段の決勝戦が堂々の演武で始まった。しかし、品田選手に異変が…。

試合中に指が痙攣（けいれん）し始めた。必死の形相で演武する品田。そこには、自分のため、仲間のため、新潟県スタッフのために戦う男の姿があった。柄を離れる指。それを補おうとするしぐさ。自然と表現されたその残心の間は、意外にも逆に深く審判の心に響き、感銘を与えた。結果は3対0の圧勝。五段の部も優勝、六段の部は3位で、新潟県の総合優勝が決まった瞬間だった。



夏の沖縄インターハイ

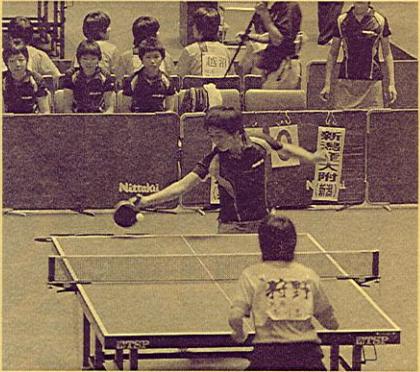
新潟産業大学附属高校

顧問 伊藤 紗織

昨年の沖縄インターハイでは、3名の選手が入賞いたしました。

男子シングルスで、王凱（3年）が3年意地を見せベスト8、女子ダブルスで、王舒・高橋結女（3年・2年）が昨年度に引き続きベスト8、シングルスでは王舒が集大成の準優勝でした。

とくに3年生の一人にとっては最後のインターハイ。大会に賭ける思いは特別でした。優勝選手に敗れはしましたが、最後まで気迫のこもったプレーで後輩達にも勇気を与えてくれました。彼らの頑張りに、心から感謝しています。



北京オリンピック後の成績

富澤 慎の父

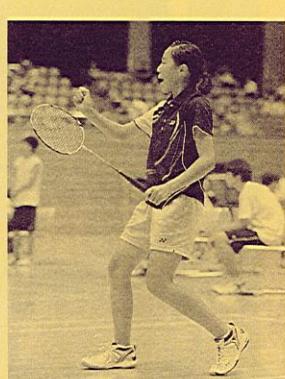
柏崎バドミントン協会

会長 田村 仁

その後の成績は、第64回新潟国体、第65回千葉国体で優勝（過去7回出場で、優勝4回入賞3回）2009・2010年全日本選手権優勝と、国内では敵なしの状況です。

アジアクラスでは、2009年12月の東アジア大会優勝、2010年3月のプレージア大会では2位、11月アジア大会4位。世界大会では、目標の15位以内（ondonオリジナルピック入賞圏内）に向け活動中です。

全国大会をめざして



子供会の活動とジュニアの育成に努め、県協会のNPO「ジュニアクラブ」への参加の成果が実ってきたと思います。まだ全国大会に出でていない高校の出場を期待して育成強化に努力したい。

「全力疾走」

柏崎リトルシニア監督 吉野 公浩

チーム結成10年目を迎えた昨年、二つ目の全国大会に出場することができました。二月大阪での大会は、開会式直後の第一試合京セラドーム大阪で初戦を戦い、延長戦の末3対4のサヨナラ負け。七月福岡での大会は、力及ばず0対2の完封負け。いずれも初戦敗退でしたが、大舞台で全力疾走でプレーする選手達は格好良かったです。この貴重な経験の一つ一つをステップにして、全国の強豪を倒せるよう今後も頑張っていきたいと思います。



打たれて学ぶ

柏崎なぎなた協会理事 松井明日香

なぎなたは、柏崎常盤高校が8年連続でインターハイ出場を果たした。目標とする入賞は果たせなかったが、演技で決勝トーナメントに進出し、安定した力をつけています。9月に千葉で行われた国体では常盤高校3年生の小林沙緒理、布施優実、猪爪麻代が善戦した。演技では小林・猪爪組が3回戦で地元千葉に惜敗。団体戦では準優勝した熊本に2対1で惜敗した。昨年度、国体試合準優勝の猪爪は大将として一矢報いた。今年は入賞を目指したい。